

第1号議案

令和4年度事業報告及び計算書類・監査報告に関する件

令和4年度事業報告

理事長 中川 法一

何とか COVID-19 感染症拡大による社会の混乱から正常化へ向かわせようとする気運が高まってきた令和4年でしたが、変異株による感染症拡大が繰り返され対面でのイベントが規制される状況が続き、研修事業も苛立ちを覚えながらも「学びを止めない」のスローガンのもとでセンター役員と部局員が一丸となり研修事業に取り組んで参りました。

事業の柱としている第34回大阪府理学療法学会は松木明好大会長のもとで「生涯学習—その成果—」をテーマとして大阪国際会議場で開催され113演題の発表および1,039名のご参加者をしていただきました。第33回と同様にハイブリッド開催となり、今後もこの形態がスタンダードになる社会的な空気感がありますが、経費的な問題もさることながら何よりも対面での意見交換の意義や研究者の熱量の享受には代えがたいものがあります。現時点で断定的なことは申し上げられませんが、学会大会でのオンライン参加は諸事情により会場参加が難しい方々や（遠方）他士会の方々へのサポートサービスと位置づけるのが良いのではと考えております。

もう一つの柱である第4回生涯学習研修集会は感染症予防のために全面的にオンライン開催（10カリキュラム、ライブ配信・オンデマンド配信）となり494名の受講者があり、多くの方に学んでいただきました。学会大会とは違い研修会では今後もオンラインセミナーが軸になると考えていますが、講師の手から受講者の手へと技術を伝承していくハンズオンセミナーは私たちにとって不可欠な学習機会です、感染症対策のため実施の見送りを余儀なくされましたことは誠に残念でございました。

センター事業の3本目の柱と成るべく令和2年度に創刊いたしましたJ-STAGEに公開されています「総合理学療法学」はメディカルオンラインでの公開も可能となり、8論文（症例報告4本を含む）を掲載することができました。

上記の柱事業の他には、会員の皆さまの日々の研鑽を支援する場の提供を目的とした研修事業があります。令和4年度では（公社）日本理学療法士協会（以下、協会）による生涯学習制度に準拠する研修（講義）企画だけに留まっており、今後は生涯学習制度を軸にしつつも会員にとって有意義な周辺領域の研修も増やす予定です。

教育局では、登録理学療法士育成を目的とした前期研修（A1～6）および後期研修（C1～4）を各2回開講いたしました。後期研修E（領域別研修 事例）に該当する症例検討会は市区町村士会に主体的に開催していただき合計275回（346症例）の検討会開催ができました。市区町村士会での開催回数差を補完するためセンターが主催し3回の開催を行いました。生涯学習制度の準拠研修以外には、各支部での新人症例発表会、臨床実習教育部による4回の研修会を開催し、同部では協会のマニュアルを補填する形で「診療参加型臨床実習における臨床教育者マニュアル（初版）」をホームページ上にて公開しました。さらに後期研修（C領域別研修：士会オリジナル）の

講義担当者（6年～11年未満の会員対象）育成のために講師バンクを設立いたしました。これは認定・専門理学療法士の監修のもとで講義資料の作製後に講演者としての経験を積んでいただくものです。

生涯学習局では登録理学療法士を取得後の会員を主たるターゲット層にした研修会の企画開催を行ってまいりました。特筆すべき点は、府士会学術局時代から年間5～6回の開催であった主催研修会を10月からの半期で24回も開催することができました。認定理学療法士の養成カリキュラムは2講座（運動器、脳卒中）開講することができましたが、マイナー領域での開講ができなかったことが反省点として残りました。その他として、理学療法士講習会18回が開催され、また市区町村士会におかれましても計36回の研修会が開催されました。

協会による新生涯学習制度が開始された年度でしたが、制度設計を行った協会からの正確な情報公開が遅れたため前半期の研修企画が行えず、殆どの事業において本格的に稼働できたのは後期からとなりました。初動の遅れを取り戻すべく、役員・部局員一同が献身的に会員の生涯学習をサポートしてきた結果を報告させていただきました。新生涯学習制度開始後わずか1年ですが、研修会参加者数に変化（増加）が見えていることは新制度の成功を期待させるものではありません。しかし研修受講での学びよりポイント取得が先行するような風潮があるように感じ、この点については非常に危惧しております。私たち会員にとっての生涯学習とは理学療法士としての矜持と責務により理学療法の対象となる方々の課題解決に寄与するために学び続ける行為です。このことを認識しておかねば、制度はポイント取得ごっこに形骸化してしまい、登録理学療法士も認定・専門理学療法士も意味をなさなくなります。当センターが制度に踊らされることなく、公的な研修教育機関として真に学びある研修企画をしていく責務を痛感した年度となりました。

最後になりますが、お忙しい中で総合理学療法学の発行にご協力を頂いた査読員の方々、市区町村士会での症例検討会および研修会の開催を行っていただきました各士会の運営委員の方々に、この場をお借りして御礼を申し上げます。

1 学術集会の開催等による理学療法に関する研究発表事業

(1) 第34回大阪府理学療法学会の準備に関する事業 【事業番号101 学術大会部】
機器、備品の貸し出し（パソコン、カードリーダー等）などオンライン学術大会開催に
るに必要な備品の貸し出しを実施した。

(2) 学術大会運営支援に関する事業 【事業番号102 学術大会部】

ア 学術大会大会長決定から開催までのロードマップを作成した。

イ 学術大会開催の指針とマニュアルを作成した。

ウ 学術大会準備に必要なひな形文章の見直しを行った。

エ 第34回大阪府理学療法学会の開催を支援した。

日時 2022年7月3日（日曜日）

開催形式 ハイブリッド開催（対面会場・Web会場）

テーマ 「生涯学習」-その成果-

参加登録者 1,039名（協会員：980名、非会員：5名、学生：54名）

WEBログインユーザー数 593

演題数 113演題（口述発表 99演題、ポスター発表 14演題）

<内 容>

(ア) 基調講演

「生涯学習 その成果」

松木 明好 先生（四條畷学園大学）

(イ) 特別講演

「リハビリテーションの現在地と未来」

長谷 公隆 先生（関西医科大学 リハビリテーション医学講座）

(ウ) 講演

「老年期理学療法のエビデンス」

永井 宏達 先生（兵庫医科大学）

(エ) シンポジウム

テーマ 「エビデンスをどう作ってどう活用するのか」

座 長 徳久 謙太郎 先生（友誼会総合病院）

シンポジスト

運動器 木村 佳記 先生（大阪大学大学院医学系研究科健康スポーツ科学講座）

循環器 岩津 弘太郎 先生（枚方公済病院）

神 経 二階 堂泰隆 先生（大阪医科薬科大学病院）

(オ) ランチタイムセミナー

「痙縮に対する新たな物理療法～ショックウェーブの臨床適応～」

中村 潤二 先生（西大和リハビリテーション病院）

「膝関節可動域制限に対する超音波画像（ポケットエコーによる）を用いた理学療法—エビデンスと機能解剖から考える有効な使用方法とその実際—」

演者 澳 昂佑 先生（川崎医療福祉大学）

（カ）第 34 回大阪府理学療法学会 優秀演題賞

a 演題名 COVID-19 に伴うウイルス誘発性筋炎により著明な筋力低下を呈したが集中的な回復期リハビリテーションにより筋力向上及び独歩獲得に至った一症例

筆頭演者 山中 大河 先生（千里中央病院）

b 演題名 食道摘出再建術を実施した食道癌患者における術後 Performance Status と術後生存率との関連について

筆頭演者 水澤 裕貴 先生（近畿大学病院）

c 演題名 Severe COVID-19 後、重度の起立性低血圧を呈した被殻出血一例に対する早期理学療法経験

筆頭演者 渡辺 広希 先生（関西電力病院）

d 演題名 反復転倒歴を有した高齢頸髄不全損傷患者一症例
～移乗と排泄動作の自立へ向けた介入～

筆頭演者 田口 周輝 先生（JCHO 星ヶ丘医療センター）

e 演題名 体外式膜型人工心肺装着中の腹臥位療法が酸素化の改善に寄与したと考えられた重症レジオネラ肺炎の症例

筆頭演者 木本 祐太 先生（近畿大学病院）

f 演題名 外来慢性閉塞性肺疾患患者における低頻度呼吸リハビリテーションは 1 年後の身体活動を向上させることができるのか？

筆頭演者 大庭 潤平 先生（大阪複十字病院）

（キ）卒業研究優秀演題賞

a 演題名 「感染予防具による体温変動が注意機能に与える影響」

筆頭演者 平野 佑馬 先生（大阪医療福祉専門学校 理学療法学科）

2 理学療法に関する機関誌等の発行事業

【事業番号 201 学術誌編集部】

（1）学術誌の編集及び発刊に関する事業

学術誌『総合理学療法学』第 2 巻を発行した。府士会員および全国の教育機関に配布用に冊子体の印刷とオンラインジャーナルとして J-STAGE に掲載した。投稿論文数は研究論文が 4 編、症例報告が 4 編の計 8 編であった。『総合理学療法学』第 3 巻の発行に向け論文を募集し、編集委員会として投稿論文のチェック・査読依頼・論文審査・校正依頼を実施した。また、受理論文を J-STAGE にて早期公開した。第 3 巻以降は、会員への冊子体の配布は中止し、オンラインジャーナルを主体に発行する予定である。

(2) 研究活動の助成に関する事業

【事業番号 202 学術誌編集部】

生涯学習研修集会における研修「理学療法士における臨床研究のすすめ」を学術誌編集部が担当し、企画を行った。第4回生涯学習研修集会では、「臨床研究の進め方」および「論文執筆・投稿の実際」というテーマで、それぞれ ZOOM ミーティングによるワークショップ形式の研修を実施し、参加者は 43 名であった。

3 理学療法士等の資質向上を目的として行う研修等事業

(1) 第4回生涯学習研修集会の企画運営支援に関する事業

【事業番号 301 研修部】

第4回生涯学習研修集会の企画運営を行った。

期 日 令和4年7月2日(土)

開催方式 オンライン

申込者数 494名

1次申込(当日視聴、更新・認定ポイントあり) 437名

2次申込(アーカイブ視聴のみ) 57名

ア 研修内容

(ア) 基礎領域 観察による歩行分析の熟練についてエキスパートは何を考え、何を
見ているのか

講師 盆子原 秀三先生(了徳寺大学)

カリキュラムコード 64「歩行・歩行障害」

登録理学療法士更新ポイント 3点

申込者数 118名

(イ) 神経領域 歩行リハビリテーションのための運動制御とその学習

講師 大畑 光司先生(京都大学)

カリキュラムコード 53「活動体としての人間理解：活動(運動)のメカニズム」

登録理学療法士更新ポイント 3ポイント

認定・専門理学療法士更新点数 3点

申込者数 177名

(ウ) 神経領域 理学療法に役立つ脳画像の見方

講師 大村 優慈先生(湘南医療大学)

カリキュラムコード 39「画像評価」

登録理学療法士更新ポイント 3ポイント

認定・専門理学療法士更新点数 3点

申込者数 131名

(エ) 運動器領域 インソールと運動療法を用いた足部・足関節の理学療法

講師 園部 俊晴先生(コンディショニング・ラボ)

カリキュラムコード 148「装具」

登録理学療法士更新ポイント 3ポイント

申込者数 86名

(オ) 内部領域 呼吸器機能障害の評価と運動療法

講師 玉木 彰先生 (兵庫医科大学)

カリキュラムコード 100 「呼吸理学療法」

登録理学療法士更新ポイント 3ポイント

認定・専門理学療法士更新点数 3点

申込者数 67名

(カ) 内部領域 循環器疾患を有する高齢者に対する理学療法

講師 高橋 哲也先生 (順天堂大学)

カリキュラムコード 105 「循環器疾患の理学療法」

登録理学療法士更新ポイント: 3ポイント

認定・専門理学療法士更新点数: 3点

申込者数 120名

(キ) 地域領域 サルコペニアの予防と改善

講師 山田 実先生 (筑波大学)

カリキュラムコード 57 「機能と構造、身体機能の低下」

登録理学療法士更新ポイント 3ポイント

認定・専門理学療法士更新点数 3点

申込者数 60名

(ク) 教育領域 卒前から卒後にかけてのシームレスな理学療法士教育 養成校教育として
目指すもの

講師 日高 正巳先生 (兵庫医科大学)

臨床施設側の立場から

講師 都留 貴志先生 (市立吹田市民病院)

カリキュラムコード 159 「スタッフ教育と教育システム」

登録理学療法士更新ポイント 3ポイント

認定・専門理学療法士更新点数 3点

申込者数 21名

(ケ) 理学療法士における研究のすすめ

臨床研究の進め方

講師 中村 潤二先生 (西大和リハビリテーション病院)

論文執筆・投稿の実際

講師 野添 匡史先生 (甲南女子大学)

カリキュラムコード 48 「研究法」

登録理学療法士更新ポイント 6ポイント

認定・専門理学療法士更新点数 6点

申込者数 47名

(2) 研修会の開催に関する事業

【事業番号 302 研修部】

ア センター「主催」研修会

センター会員に対して年 24 回の研修会を開催した。全研修会において、登録理学療法士更新ポイント、専門・認定理学療法士の更新点数が取得できる研修会を企画とした。全てオンライン開催の平日ナイトセミナーとし、センター会員のみならず全国の協会会員が参加できるように実施した。講師承諾が得られた 23 研修でアーカイブ配信を実施し、研修会終了後から 2 週間まで視聴できるようにした。

研修会全体の開催方式、開催時間、更新ポイント、更新点数、申込者数（センター会員数）、履修登録者数は以下の通りである。

開催方法 オンライン（ZOOM ウェビナー）

開催時間 午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

登録理学療法士更新ポイント 1.5 ポイント

専門・認定理学療法士更新点数 1.5 点

申込者総数（センター会員数） 3,210 名（956 名）

履修登録者総数（履修登録者率） 2,688 名（83.7%）

(ア) 第 1 回研修会

地域を支える理学療法士、地域から期待される理学療法士の役割

期日 令和 4 年 10 月 19 日（水）

講師 吉本 達人先生（豊中平成病院）

カリキュラムコード 7 地域リハビリテーション

申込者数（センター会員数） 58 名（23 名）

履修登録者数（履修登録者率） 54 名（93.1%）

(イ) 第 2 回研修会

動作改善につなげる観察と分析

～観察・分析の結果をどのように治療に活かすのか～

期日 令和 4 年 10 月 21 日（金）

講師 上池 浩一先生（西宮回生病院）

カリキュラムコード 37 臨床問題解決のプロセス

申込者数（センター会員数） 78 名（32 名）

履修登録者数（履修登録者率） 60 名（76.9%）

(ウ) 第 3 回研修会

子どもセラピストも楽しく成果の出る小児理学療法へ

～ⅡSTEP 以降の小児理学療法，世界の潮流と日本の現状～

期日 令和 4 年 10 月 28 日（金）

講師 藪中 良彦先生（大阪保健医療大学）

カリキュラムコード 122 小児・発達障害の理学療法

申込者数（センター会員数） 98 名（25 名）

履修登録者数（履修登録者率） 83 名（84.7%）

(エ) 第4回研修会

脳卒中片麻痺患者の動作改善に必須の知識とアプローチのポイント

期日 令和4年11月1日(火)

講師 有末 伊織先生(関西福祉科学大学)

カリキュラムコード 79 脳血管障害後遺症

申込者数(センター会員数) 84名(35名)

履修登録者数(履修登録者率) 74名(88.1%)

(オ) 第5回研修会

パーキンソン病の病態と治療を理解する ～薬物療法・外科的治療・運動療法～

期日 令和4年11月2日(水)

講師 浦 慎太郎先生(北野病院)

カリキュラムコード 81 パーキンソン病関連疾患の理学療法

申込者数(センター会員数) 75名(29名)

履修登録者数(履修登録者率) 2名(82.7%)

(カ) 第6回研修会

合併症としての糖尿病のリスク

～糖尿病を合併する症例に対する運動療法の工夫～

期日 令和4年11月9日(水)

講師 山口 紘史先生(堺平成病院)

カリキュラムコード 107 糖尿病、脂質異常

申込者数(センター会員数) 63名(22名)

履修登録者数(履修登録者率) 45名(71.4%)

(キ) 第7回研修会

基礎から学ぶ解剖学

～運動器機能障害を理解するために必要な最新の解剖学的情報(下肢編)～

期日 令和4年11月11日(金)

講師 荒川 高光先生(神戸大学)

カリキュラムコード 49 理学療法の基礎知識

申込者数(センター会員数) 176名(71名)

履修登録者数(履修登録者率) 149名(84.7%)

(ク) 第8回研修会

基礎から学ぶ呼吸 ～解剖学・生理学に基づいた呼吸リハビリテーション～

期日 令和4年11月26日(金)

講師 堀江 淳先生(京都橘大学)

カリキュラムコード 98 呼吸障害

申込者数(センター会員数) 126名(45名)

履修登録者数(履修登録者率) 107名(84.9%)

(ケ) 第9回研修会

急性期脳卒中に対する必須の評価とリスク管理、運動療法の考え方

期日 令和4年11月30日(水)

講師 鎌田 将星先生(国立循環器病研究センター)

カリキュラムコード 161 急性期の理学療法

申込者数(センター会員数) 130名(38名)

履修登録者数(履修登録者率) 110名(84.6%)

(コ) 第10回研修会

情報リテラシーを高めよう!

～EBPT実践に向けたインターネットの活用、情報や文献の検索方法～

令和4年12月5日(月)

講師 山野 宏章先生(大阪行岡医療大学)

カリキュラムコード 45 エビデンス(根拠)に基づく理学療法

申込者数(センター会員数) 78名(28名)

履修登録者数(履修登録者率) 63名(80.8%)

(サ) 第11回研修会

退院に向けた住環境整備 ～転倒予防戦略の立て方～

期日 令和4年12月7日(水)

講師 上田 哲也先生(大阪公立大学)

カリキュラムコード 145 住環境

申込者数(センター会員数) 138名(40名)

履修登録者数(履修登録者率) 121名(87.7%)

(シ) 第12回研修会

内分泌疾患とサルコペニアとの深い関連

期日 令和4年12月9日(金)

講師 浅田 史成先生(大阪労災病院治療就労両立支援センター)

カリキュラムコード 109 内分泌・代謝疾患

申込者数(センター会員数) 84名(30名)

履修登録者数(履修登録者率) 70名(83.3%)

(ス) 第13回研修会

痛みの慢性化メカニズムと疼痛評価

期日 令和4年12月21日(水)

講師 今井 亮太先生(大阪河崎リハビリテーション大学)

カリキュラムコード 93 疼痛:慢性痛

申込者数(センター会員数) 152名(47名)

履修登録者数(履修登録者率) 131名(86.2%)

(セ) 第14回研修会

がんリハビリテーションに必須の評価と理学療法の実際

期日 令和4年12月23日(金)

講師 井上 順一朗先生(神戸大学医学部附属病院)

カリキュラムコード116 がんのリハビリテーション

申込者数(センター会員数) 165名(49名)

履修登録者数(履修登録者率) 138名(83.6%)

(ソ) 第15回研修会

障害者スポーツ現場で求められるPTの役割と備えるべき技能

～パラスポーツを支えるPTになるために～

期日 令和5年1月18日(水)

講師 東山 学史 氏(大阪回生病院)

カリキュラムコード91 障がい者スポーツ分野における理学療法

申込者数(センター会員数) 42名(13名)

履修登録者数(履修登録者率) 33名(78.6%)

(タ) 第16回研修会

認知神経リハビリテーションの考え方

～脳卒中患者に対するアプローチへどう活かすか～

期日 令和5年1月25日(水)

講師 隠田 良祐先生(平成記念病院)

カリキュラムコード44 治療プログラム立案

申込者数(センター会員数) 82名(27名)

履修登録者数(履修登録者率) 66名(80.5%)

(チ) 第17回研修会

高齢者の循環機能と運動機能 ～安全で効果的な運動療法プログラム～

期日 令和5年1月27日(金)

講師 大浦 啓輔先生(のぞみハートクリニック)

カリキュラムコード 101 循環障害

申込者数(センター会員数) 175名(57名)

履修登録者数(履修登録者率) 151名(86.3%)

(ツ) 第18回研修会

エビデンスに基づく臨床実践

～脳卒中リハビリテーションにおける物理療法の活用～

期日 令和5年1月31日(火)

講師 生野 公貴先生(西大和リハビリテーション病院)

カリキュラムコード 54 神経・筋機能制御

申込者数(センター会員数) 143名(33名)

履修登録者数(履修登録者率) 126名(88.1%)

(テ) 第19回研修会

基礎から学ぶ循環 ～バイタルサインと検査値の捉え方～

期日 令和5年2月3日(金)

講師 堀 竜次先生(森ノ宮医療大学)

カリキュラムコード 40 生理機能検査と解釈

申込者数(センター会員数) 275名(82名)

履修登録者数(履修登録者率) 232名(84.4%)

(ト) 第20回研修会

肩関節障害に対する理学療法

～凍結肩と拘縮肩の新たな定義, 関節可動域障害に対する評価とアプローチ～

期日 令和5年2月10日(金)

講師 西川 仁史先生(甲南女子大学)

カリキュラムコード 58 機能障害

申込者数(センター会員数) 196名(43名)

履修登録者数(履修登録者率) 174名(88.8%)

(ナ) 第21回研修会

TKA術前・術後における介入のあり方

～術後の生活機能を見据えた長期的治療戦略～

期日 令和5年2月17日(金)

講師 伊能 良紀先生(栗田整形外科)

カリキュラムコード 88 運動器疾患の理学療法

申込者数(センター会員数) 129名(40名)

履修登録者数(履修登録者率) 105名(81.4%)

(ニ) 第22回研修会

加齢に伴う姿勢・脊柱機能の変化と腰部障害の捉え方

期日 令和5年2月24日(金)

講師 西田 大希先生(大阪府済生会富田林病院)

カリキュラムコード 131 慢性疾患・複合疾患の管理

申込者数(センター会員数) 272名(75名)

履修登録者数(履修登録者率) 232名(85.3%)

(ヌ) 第23回研修会

THA患者への理学療法介入の実際 ～術前からの経過を踏まえて～

期日 令和5年3月3日(金)

講師 三浦 なみ香先生(増原クリニック)

カリキュラムコード 84 骨関節障害

申込者数(センター会員数) 151名(33名)

履修登録者数(履修登録者率) 121名(80.1%)

(ネ) 第24回研修会

知っておきたいウィメンズヘルス ～女性特有の問題に対する理学療法～

期日 令和5年3月10日(金)

講師 森 明子先生(兵庫医科大学)

カリキュラムコード 126 ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法

申込者数(センター会員数) 240名(39名)

履修登録者数(履修登録者率) 181名(75.4%)

イ 市区町村士会「主催」研修会

各市区町村士会から36件の「主催」研修会の申請があり、開催された。

開催士会及び件数

茨木市理学療法士会	1件
吹田市理学療法士会	1件
北区理学療法士会	2件
福島区理学療法士会	7件
淀川区理学療法士会	1件
城東区理学療法士会	4件
枚方市理学療法士会	9件
八尾市・柏原市理学療法士会	1件
堺市理学療法士会	1件
岸和田市理学療法士会	2件
熊取町理学療法士会	3件
泉佐野市・田尻町理学療法士会	2件
阪南市・岬町理学療法士会	1件

ウ 「承認」研修会

会員所属施設から各市区町村理学療法士会に14件の「承認」研修会の申請があり開催された。

承認士会及び件数

福島区理学療法士会	2件
平野区理学療法士会	1件
枚方市理学療法士会	3件
寝屋川市理学療法士会	2件
守口市理学療法士会	1件
堺市理学療法士会	5件

(3) 新生涯学習制度における前期・後期研修に関する事業

【事業番号 303 研修理学療法教育部】

新人症例発表会の運営に関する事業

ア 第1回初期研修(新人ガイダンス)

日時 令和4年5月22日(日) 午前10時00分から11時30分まで

日 時 令和4年5月22日（日）午後14時30分から16時00分まで

場 所 大阪国際会議場

テーマ 「A-2 協会組織」

参加者 589名

講 師 熊崎 大輔 先生（大阪府理学療法士会 会長）

イ 第2回初期研修

日 時 令和4年6月13日（月）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-1 職業人と倫理」

参加者 157名

講 師 射場 一寛 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

日 時 令和4年6月14日（火）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-3 人間関係および接遇」

参加者 167名

講 師 井阪 美智子 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

日 時 令和4年6月15日（水）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-6 生涯学習について」

参加者 163名

講 師 中川 法一 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事長）

日 時 令和4年6月16日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-5 理学療法における情報管理」

参加者 158名

講 師 村西 壽祥 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

日 時 令和4年6月17日（金）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-4 理学療法における関連法規」

参加 156名

講 師 芳本 康司 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 副理事長）

ウ 第3回初期研修

日 時 令和4年7月4日（月）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-1 職業人と倫理」

参加者 190名

講 師 射場 一寛 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

日 時 令和4年7月5日（火）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-3 人間関係および接遇」参加者：182名

講 師 井阪 美智子 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

日 時 令和4年7月6日（水）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-6 生涯学習について」

参加者 184名

講師 中川 法一 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事長）

日 時 令和4年7月7日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-5 理学療法における情報管理」

参加者 185名

講 師 村西 壽祥 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

日 時 令和4年7月8日（金）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「A-4 理学療法における関連法規」

参加者 167名

講 師 芳本 康司 先生（大阪府理学療法士会生涯学習センター 副理事長）

エ 第1回領域別研修（座学）における士会オリジナル研修

日 時 令和4年9月8日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「C-1:神経系理学療法 脊髄損傷の評価と治療」

参加者 12名

講 師 高尾 弘志先 生（大阪急性期・総合医療センター）

日 時 令和4年9月15日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「C-2:運動器系理学療法 肩関節制動症における維持期・生活期の理学療法」

参加者 12名

講 師 監崎 誠一 先生（西川クリニック）

日 時 令和4年9月22日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「C-3:内部障害系理学療法 高齢心不全における評価と治療」

参加者 25名

講 師 安丸 直希 先生（大阪医療福祉専門学校）

日 時 令和4年9月29日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 対面オンライン開催

テーマ 「C-4:病期別理学療法 スポーツ活動における捻挫の評価と治療」

参加者 12名

講師 森川 裕喜 先生（運動器ケア しまだ病院）

オ 第2回領域別研修（座学）における士会オリジナル研修

日時 令和4年12月1日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場所 対面オンライン開催

テーマ 「C-1:神経系理学療法 生活期における脳卒中患者の評価と治療」

参加者 9名

講師 金 起徹 先生（川口脳神経外科リハビリクリニック）

日時 令和4年12月8日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場所 対面オンライン開催

テーマ 「C-2:運動器系理学療法 大腿骨近位部骨折の評価と治療」

参加者 20名

講師 千葉 一貴 先生（JCHO 星ヶ丘医療センター）

日時 令和4年12月15日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場所 対面オンライン開催

テーマ 「C-3:内部障害系理学療法 慢性呼吸不全における評価と治療」

参加者 13名

講師 亀甲 健太郎 先生（市立吹田市民病院）

日時 令和4年12月22日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場所 対面オンライン開催

テーマ 「C-4:病期別理学療法 地域に繋ぐ理学療法の視点」

参加者 10名

講師 杉本 佳祐 先生（友誼会総合病院）

カ 領域別研修（事例）士会『承認』症例検討会

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	9	7	22	29	39	43	44	51	31	275
対面	9	6	25	35	20	26	28	40	21	210
対面オンライン	3	0	3	3	4	1	4	3	2	23
対面・対面オンライン併用	0	1	3	7	23	22	25	23	9	113
症例数	12	7	31	45	47	49	57	66	32	346

キ 領域別研修（事例）士会『主催』症例検討会

開催支部	開催形式	症例数	聴講者
東支部	対面オンライン	2	68
中支部	対面オンライン	3	177
北支部	対面オンライン	2	115
		7	360

ク 第3回新人症例発表会

北支部新人症例発表会

日 時 令和5年2月26日(日) 午前9時から午後13時まで

場 所 対面オンライン開催

主幹士会 茨木市理学療法士会(会長 中前 喬也 先生)

実行委員会 茨木市理学療法士会(委員長 本田 貴之 先生)

発表演題数 54 演題

参加者 194 名

南支部新人症例発表会

日 時 令和5年1月22日(日) 午前9時30分から午後12時30分まで

場 所 対面オンライン開催

主幹士会 和泉市理学療法士会(会長 畠中 耕志 先生)

実行委員会 和泉市理学療法士会(委員長 畠中 耕志 先生)

発表演題数 19 演題

参加者 124 名

東支部新人症例発表会

日 時 令和5年1月15日(日) 午前9時から午後12時45分まで

場 所 対面オンライン開催

主幹士会 八尾市・柏原市理学療法士会(会長 駒野 倫久 先生)

実行委員会 八尾市・柏原市理学療法士会(委員長 三好 卓宏先生)

発表演題数 50 演題

参加者 158 名

中支部新人症例発表会

日 時 令和5年1月29日(日) 午前9時から午後12時まで

場 所 対面オンライン開催

主幹士会 福島区理学療法士会(会長 平沢 良和 先生)

実行委員会 福島区理学療法士会(委員長 平沢 良和 先生)

発表演題数 51 演題

参加者 101 名

(4) 指導者の育成に関する事業

【事業番号304 臨床実習教育部】

ア 診療参加型臨床実習における指導実践例を主体とした研修会を計2回開催した。

(ア) 第1回研修会

日 時 令和4年9月9日(金) 午後7時から午後8時30分まで

場 所 オンライン(ZOOM ミーティング)

テーマ 診療参加型臨床実習の実践(モデルケース編)

講 師 亀甲 健太郎 先生(市立吹田市民病院)

小原 滉平 先生(大野記念病院)

参加人数 58名

(イ) 第2回研修会

日 時 令和5年1月27日(金) 午後7時から午後8時30分まで

場 所 オンライン (ZOOM ミーティング)

テーマ 診療参加型臨床実習の実践 (あなたならどうする? 困難事例編)

講 師 三木屋 良輔 先生 (森ノ宮医療大学)

辻岡 大輔 先生 (清恵会第二医療専門学院)

参加人数18名

イ 診療参加型臨床実習における臨床教育者マニュアル (初版) を作成した。

マニュアルは当センターHPに公開した。

(5) 臨床実習教育基準に関する事業

【事業番号305 臨床実習教育部】

大阪府下の各養成校で行われている臨床実習前評価の共通化に向けて、次年度ワーキンググループ (WG) を立ち上げ、検討していく予定である。そこで、WGの構成員となる養成校教員と臨床に従事する理学療法士を対象にWGを設立する必要性や具体的な検討事項について、説明をする研修会を計2回開催した。

ア 第1回研修会

日 時: 令和5年3月7日(火) 午後7時から午後8時まで

場 所: オンライン (ZOOM ミーティング)

テーマ: 「臨床実習前評価の統一化に向けて」

講 師: 三木屋 良輔 先生 (森ノ宮医療大学)

辻岡 大輔 先生 (清恵会第二医療専門学院)

参加人数: 26名

イ 第2回研修会

日 時: 令和5年3月9日(木) 午後7時から午後8時まで

場 所: オンライン (ZOOM ミーティング)

テーマ: 「臨床実習前評価の統一化に向けて」

講 師: 三木屋 良輔 先生 (森ノ宮医療大学)

辻岡 大輔 先生 (清恵会第二医療専門学院)

参加人数: 24名

4 目的を同じくする法人等の行う活動に関する助言又は支援

(1) 理学療法士講習会 (協会主催・センター主催) の運営に関する事業

【事業番号401 受託研修部】

令和4年度の生涯学習センター主催の理学療法士講習会 (以下、センター主催) 17件と協会助成事業の理学療法士講習会 (以下、助成事業) 1件の管理を行った。また令和4年度と同講習会の募集を行い、上半期センター主催5件と助成事業1件の応募があり採択さ

れた。

(2) 認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関に関する事業

【事業番号 401 受託研修部】

認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として、2領域（運動器と脳卒中）のカリキュラムを開講した。開催形式はオンデマンド形式（必須15科目）、Zoom ウェビナーによるオンライン形式（選択5科目）で行なった。必須科目のオンデマンド視聴期間は、令和4年9月11日（日）から令和4年11月30日（水）とした。オンライン形式の選択科目は令和4年9月11日（日）に開催した。各領域の受講者数は運動器40名、脳卒中18名であった。

5 法人の目的を達成するために必要な事業

(1) ホームページ及び SNS による広報に関する事業

【事業番号 501 ソーシャルメディア管理部】

- ア 当センターHPの管理運営を行なった。
- イ SNS (Facebook, Twitter, Instagram) の管理運営を行なった。
- ウ 研修会・学会等の学術関連の広報活動を行った。
ニュース・お知らせ：92件 研修会・学会等 135件

(2) ニュースの編集及びホームページに関する事業

【事業番号 502 ニュース編集部】

- ア 研修会・講習会・学会等の学術関連の広報活動に関する事を行った。
- イ ホームページに活動・学会等に関する掲載を行った。
府士会ニュースへの掲載依頼 6件

(3) 役員の行動に伴う業務管理に関する事業

【事業番号 503 総務部】

- ア 理事会開催の管理を行った。
第1回 4月13日 第2回 5月10日 第3回 6月8日
第4回 7月13日 第5回 8月9日 第6回 9月14日
第7回 10月12日 第8回 11月8日 第9回 12月14日
第10回 1月11日 第11回 2月14日 第12回 3月8日
- イ 総会、学会、部会などへの出席の管理を行った。
第4回定時総会
期日 令和4年6月19日（日）
場所 ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスルーム
(大阪府大阪市淀川区西中島6丁目2番19号)
代議員 総代議員数 80名
会場出席者 18名

オンライン出席者	30名
議決権行使書提出者	23名
議決権行使書提出者	4名(締め切り期限後到着のため無効)
欠席者	4名
不明	1名(上記全てに該当なし)

ウ 他団体との交際はコロナ禍の影響のため実績はありません。

(4) 新卒者理学療法説明会（新人ガイダンス）に関する事業 【事業番号 504 総務部】

府士会と共同にて新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より会場入場者数を制限し、午前と午後の2回に分けて新入会者に対し役員の紹介を行った

日 時 令和4年5月22日（日）午前10時00分及び午後14時00分

場 所 大阪国際会議場

(5) センター運営の支援に関する事業 【事業番号 505 総務部】

ア 理事会、定時総会、部長会議、その他諸会議の準備と運営を行った。

イ 表彰に関する準備を行った。

ウ 議案書、議事録、会議資料の作成と保管を行った。

エ 公文書、申請書、報告書の発行と保管を行った。

公文書 256部

委嘱状 84部

オ センター刊行物、各種資料等の保管を行った。

カ 儀礼、慶弔対応を行った。

弔電 0件

祝電 44件(大阪府下養成校への入学・卒業祝い)

供花 0件

キ 事務所、事務員の管理を行った。

ク 府士会を通じて協会との事務連絡を行った。

(6) 理事長活動に伴う業務管理に関する事業 【事業番号 506 財務部】

他団体との交流などの管理を行った。

(7) 局・部運営に伴う業務の管理に関する事業 【事業番号 507 財務部】

ア 局及び部会議の開催に関する管理を行った。

イ センター以外の諸会議への出席に関する管理を行った。

ウ R4年度の新事業や新委員会発足に関する実績はありません。

(8) 財務管理に関する事業 【事業番号 508 財務部】

ア 会計業務委託先と連携を取り財務管理を行った。

イ 年間予算の作成及び各部支出状況の管理を行った。

(ア) 予算・決算に関する事業を行った。

(イ) 事業収入に関する事業を行った。

(ウ) 事業費、管理費の支出などに関する事を行った。

(エ) 流動資産の管理に関する事を行った。

(オ) 支給規則の遵守に関する事を行った。

(9) 新年互礼会の開催に関する事業

【事業番号 509 総務部】

府士会との共催事業であるが、長期化するコロナ禍の影響により関係者の健康と安全を考慮しR4年度も開催は見送りとなった。

(10) 役員選挙に関する事業

【事業番号 510 総務部】

R5年度・R6年度の役員改選に伴う手続きを実施し、その結果をHP上に報告した。

(11) 情報技術の活用・支援に関する事業

【事業番号 511 システムエンジニアリング部】

ア 第4回生涯学習研修集会の情報技術に関する支援を行なった。

イ 第34回大阪府理学療法学会の情報技術に関する支援を行なった。

ウ 生涯学習センター主催研修会の情報技術に関する支援を行なった。

エ HPの改変に関する検討検証作業を行なった。

オ ECサイトの検討、開設を行なった。